

新年ごあいさつ



泉 信也
国土交通副大臣

新年明けましておめでとうございます。

港湾関係の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は21世紀を迎える記念すべき幕開けでありますだけに、それに相応しい有意義な一年であって欲しいと念じています。

日本の経済は微かに明るさが見えながらも、今年も予断を許さない状況が続くものと思われます。景気をしっかりとした回復軌道に乗せるためにも効果的な施策を推進してまいりたいと考えています。

特に、近年我が国は、経済・社会のグローバル化、少子高齢化、高度情報化、環境問題の深刻化等、かつて経験したことの無い大きな経済社会システムの変革の流れの中にあります。

このような経済社会情勢の変化を背景に、逐次実施されてきた中央省庁等改革もいよいよ本格的な実施段階を迎え、運輸省、建設省、北海道開発庁、国土庁は、国土政策、社会資本整備、交通政策等を総合的に推進することを任務として、1月6日に国土交通省に移行しました。今後は、統合のメリットを活かし、質の高い施策を展開することにより、国土交通省が国民にとって、或いは地域にとっていい意味での大きなインパクトを与える官庁となるよう務めてまいりたいと考えています。

港湾の分野におきましても、国土交通省への移行に伴い、これまで港湾整備を実施していた港湾建設局も建設省地方建設局とともに地方整備局として生まれ変わりました。

このことを生かし、港湾、空港、道路などの我が国の基本的な交通インフラの一体的な整備を進め、物流の効率化に向けたより効果的な施策を遂行していくことが国民の期待に応えることと考えています。

そして、ハード・ソフトともに国際水準のサービスを提供できる港づくりや、魅力ある地域づくりを先導する港湾整備により、港湾が国民の暮らしと我が国の国際競争力を支え、活力ある経済・社会が実現できるよう、精一杯努力してまいりたいと考えています。

最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍をお祈りし、新年のご挨拶といたします。